

調査結果の骨子

1 県政に対する関心

県政に対し「関心のある人」は6割以上(64.1%)、「関心のない人」は約3割(31.0%)となっており、前回調査(平成20年12月)と比較しても大きな変化はない。

また、年齢別では60歳代をピークに概ね年齢層が高いほど関心が高くなっており、職業別では農林漁業及び自営業で関心が高くなっている。

県の事業などへの参加意識では、「協力したい」と答えた人は71.5%となっているが、平成15年2月調査以降、徐々に減少しており、特に、20歳代、30歳代で少なくなっている。

行政課題としては、「社会福祉の充実」(49.1%)と答えた人の割合が最も多く、以下、「保健医療対策」(42.1%)、「雇用安定・労働福祉対策」(38.3%)、「子育て支援対策」(23.9%)などの順で、前回調査と比較すると、「雇用安定・労働福祉対策」が6.7ポイントと最も大きく増加している。

2 定住意識

今住んでいる地域にずっと住みたいと考えている人の割合は8割以上(82.7%)で、定住のための要件としては「買物など生活上便利であること」(34.0%)と答えた人の割合が最も多く、以下、「自然環境に恵まれていること」(28.7%)、「福祉や保健医療の環境が整っていること」(26.7%)、「親や子どもが身近にいること」(22.6%)などの順となっている。

3 県への施策要望

分野別の主な施策要望は、次のようになっている。

分 野	分野別に回答が多かった項目（内の数字は順位）及び特徴的な項目（下線部が特徴的な点、+ は前回比）
保健医療対策	休日や夜間の急病時の診療体制の整備（ 44.3% ） 県立病院等の公的医療機関の充実（ 20.6% ）（宇摩圏域 33.3% ） 無医地区解消等へき地医療対策の推進（ 16.6% ）（八幡浜・大洲圏域 28.2% ） 産婦人科・小児科等の医師不足対策（ 16.6% <u>9.6</u> ）
高齢化社会対策	医療施設の充実や医療費負担の適正化の推進 （ 43.0% ）（宇摩圏域 55.4% +20.8 ）
障害者福祉対策	年金や福祉手当等の所得保障の充実（ 35.6% ） 障害者が快適・安全に利用できる乗物等の整備（ 27.9% ）（20歳代 45.7% ）
子育て支援対策	延長保育など柔軟な保育制度の拡充（ 33.1% +8.1 ） 子ども手当等経済的支援の充実（ 13.1% <u>9.8</u> ）（50歳代 5.4% <u>21.0</u> ）
食の安全・安心対策【新設項目】	輸入食品、残留農薬等の検査体制の強化（ 48.2% ）
環境衛生対策	大気汚染、水質汚濁等の公害防止対策（ 32.1% ）（宇摩圏域 43.2% ） 地球温暖化防止策の推進（ 25.8% ）（20歳代 36.4% ） 食品衛生に対する監視・指導の強化（ 13.2% <u>12.8</u> ）
物価・消費者保護対策	悪質商法の防止対策の充実（ 57.8% +8.5 ） （20歳代 +17.7 ）（八幡浜・大洲圏域 +22.0 ） 欠陥商品や不適正な表示等への規制強化（ 44.1% <u>13.1</u> ） 物価情報等、消費者への情報提供の強化（ 38.1% ） （八幡浜・大洲圏域 <u>15.9</u> 宇和島圏域 <u>15.1</u> ）（20歳代 <u>15.6</u> ）
学校教育対策	教員の資質の向上（ 68.4% ）（50歳代以上 70%超 ） 生活指導の強化（ 32.1% ） （60歳代 44.7% 70歳以上 39.7% ）（宇和島圏域 40.6% ）
家庭教育対策	家庭教育について学習できる機会の拡充（ 34.7% ）
社会教育対策	家庭・地域等のコミュニティづくりの促進（ 63.7% ） 県・市町の社会教育指導者の資質向上（ 36.9% ）（70歳以上 48.8% ）
生涯学習対策	講座や研修会等の受講機会の拡大（ 31.6% ）
青少年対策	保護者が相談しやすい環境等の充実（ 43.8% ）
文化振興対策	美術館等の文化施設の整備・活用（ 38.2% ）
スポーツ振興対策	気軽にスポーツできる施設の整備（ 59.7% ）

男女共同参画対策	労働条件や職場環境の改善 (30.3%)(<u>20歳代 42.1%</u> + 14.5) 在宅福祉サービス充実・高齢者福祉施設の整備 (21.2%)(<u>60歳代 30.1%</u> <u>70歳以上 32.4%</u>) 保育サービス・子育て相談機能の充実 (19.9%) (<u>30歳代 33.5%</u>)
農業対策	農業後継者の育成 (41.0%)(<u>宇摩圏域 50.7%</u>) 耕作放棄地の発生防止・復旧の推進 (20.9%)(<u>宇摩圏域 16.9</u>)
林業対策	林業後継者など担い手の育成 (30.3%)
森林対策	水源かん養機能の高い森林整備 (29.0%) 防災機能の高い森林整備 (26.5%)(<u>宇摩圏域 38.7%</u>) 県民の理解のうえ森林整備を進める (22.8%) (<u>八幡浜・大洲圏域 33.5%</u>)
水産業対策	稚魚の育成放流など水産資源の増大 (27.8%)
商業対策	商店街イベント開催等の共同事業を援助 (32.2%)
中小企業対策	地域に根ざした産業おこしの支援 (23.2%)
若年者雇用対策	就職支援情報、求人情報の提供の強化 (30.3%) 県内企業等のニーズに応じた人材育成 (26.9) (<u>20歳代 14.1%</u>) 若年者対象の求人開拓強化 (26.2%) (<u>農林漁業 36.8%</u>)
観光対策	観光客の受入れ施設の整備 (34.9%) 自然景観等、未利用の資源の観光的利用の推進 (23.7%) (<u>今治圏域 15.4</u>)
国際化対策	海外研修など異文化とのふれあいの機会拡充 (30.3%)
公共交通機関対策	乗客の少ない地域のバス路線の維持 (35.0%) (<u>八幡浜・大洲圏域 48.4%</u> <u>宇和島圏域 44.1%</u>) フリーゲージトレインの導入の推進 (24.2%) (<u>新居浜・西条圏域 32.7%</u>) バス路線の拡大、便数の充実 (24.2%) (<u>70歳以上 35.6%</u>)
道路交通対策	自転車道や歩道の整備 (34.5%) (<u>今治圏域 39.1%</u> <u>松山圏域 43.1%</u>) 渋滞対策の推進 (28.1%) (<u>30歳代 42.6%</u> <u>40歳代 39.4%</u> <u>50歳代 15.0</u>) 災害時に強い道路整備 (19.7%) (<u>宇摩圏域 15.9</u>)
地域情報化対策	インターネットの高速・安価な利用の推進 (34.0%) 携帯電話等がどこでも使えるようにする (26.5%) (<u>八幡浜・大洲圏域 + 16.6</u>)

4 特定課題

特定課題については、次のようになっている。

<p>地域主権改革</p>	<p>【地域主権改革への考え】 賛成（58.7%） 反対（8.9%） どちらともいえない（32.4%）</p> <hr/> <p>【賛成の理由】 地域の個性が発揮され、地方特性に合った地域づくりが期待できる（70.9%）</p> <hr/> <p>【反対の理由】 権限や業務に見合った財源が得られず、住民サービスが低下する（63.6%）</p> <hr/> <p>【どちらともいえない理由】 イメージがわからない（56.3%）</p>
<p>ボランティア活動の活性化</p>	<p>【ボランティアの参加状況】 参加している（12.5%） 過去に参加したことがあるが、現在は参加していない（29.4%） 参加したことがない（58.1%）（<u>30歳代 65.3%</u>）（<u>八幡浜・大洲圏域 43.5%</u>）</p> <hr/> <p>【活性化への取組み】 気軽にボランティア活動が始められるようなきっかけづくり（55.7%）</p> <hr/> <p>【ボランティアキャンペーンへの参加】 参加したことがある（5.0%） 参加したことはないが、次回のキャンペーンには参加してみたい（30.4%） 参加するつもりはない（55.9%）</p>
<p>「愛媛甘とろ豚」の認知度</p>	<p>【認知度】 知っているし、既に食べたことがある（15.9%） 知っているが、まだ食べたことはない（53.1%） 知らなかった（31.0%）</p> <hr/> <p>【知った方法】 テレビ番組、テレビニュースで見た（73.7%） 新聞で見た（30.0%）（<u>20歳代 13.2%</u>）</p> <hr/> <p>【食べた感想】 大変美味しかったので、また食べたい（62.4%） 美味しかったが、また食べたいとは思わなかった（15.5%）</p> <hr/> <p>【美味しかったが、また食べたいと思わない理由】 価格が高い（56.0%） 近くで購入したり、食べられる店がない（32.0%）</p> <hr/> <p>【食べたことがない理由】 取扱店がどこにあるかわからない（45.1%）（<u>70歳以上 51.4%</u>） 近くに取扱店がない（16.4%）（<u>八幡浜・大洲圏域 26.7%</u>）</p>